

第34回IT戦略総合大会 セミナーレポート

DevOpsの普及促進 DXを牽引する グローバルリーダーをめざして

～NTTコムウェアがIT特別賞 (DevOps賞) を受賞～



NTTコムウェアでは、開発と運用を統合するDevOpsを強化しています。そしてDevOpsの普及とそのメリット拡大に貢献することが期待され、2019年2月公益社団法人企業情報化協会よりIT特別賞 (DevOps賞) を授かりました。受賞を記念し、2019年2月7日「第34回IT戦略総合大会 -経営とITの融合を目指して-」において、NTTコムウェア ネットワーククラウド事業本部 DevOps サービスセンタ長の川口 篤史が「DevOpsを実現する開発環境クラウド『DevaaS® 2.0』」と題し受賞講演を行いました。

開発と運用を融合するDevOpsを実現する日本初のクラウドサービス

システムインテグレーターであるNTTコムウェアでは、社内プロジェクトの85%で開発環境クラウド「DevaaS®」を用いています。DevaaS®は、従前バラバラであった開発と運用を融合するDevOpsという概念を実現する日本初のクラウドサービスです。

DevaaS®は、2010年よりバージョン1.0の開発を手がけていますが、ここ数年、攻めのIT、モード2、SoE (Systems of Engagement) といった新しい概念が登場してきました。これらは、ITを駆使して新しいサービス、ビジネス、価値を創出するという考え方です。その流れに追従するべく2017年7月、DevaaS®は2.0にバージョンアップし、DevOpsのためのプラットフォームとして市場へのサービス提供も開始しました。



現在NTTコムウェアが手がけるプロジェクトのうち、全体の85%でDevaaS®を用いています。残り15%はメインフレームなど、もともとDevaaS®が利用できないものとなりますので、それらを除くとほぼ100%という状況です。これによって、NTTコムウェアで定めたガバナンスを効かせた開発が可能となっています。

自動化によって大幅な工数削減とリードタイムの短縮

DevaaS® 2.0には、2つの大きな特長があります。1点目は、「高度に自動化された開発環境クラウドの実現」です。DevaaS® 1.0に比べて、DevaaS® 2.0が進化した点は、DevaaS® 1.0から提供していた仮想デスクトップや開発管理サーバー、試験サーバーに加えて、新たに開発者向けのポータルとCI/CD (継続的インテグレーション/継続的デプロイ) のプラットフォームサービスを追加したことです。これによりユーザーはポータルからサービスのオーダーを自動的に行い、大幅なリードタイムの短縮を実現できました。

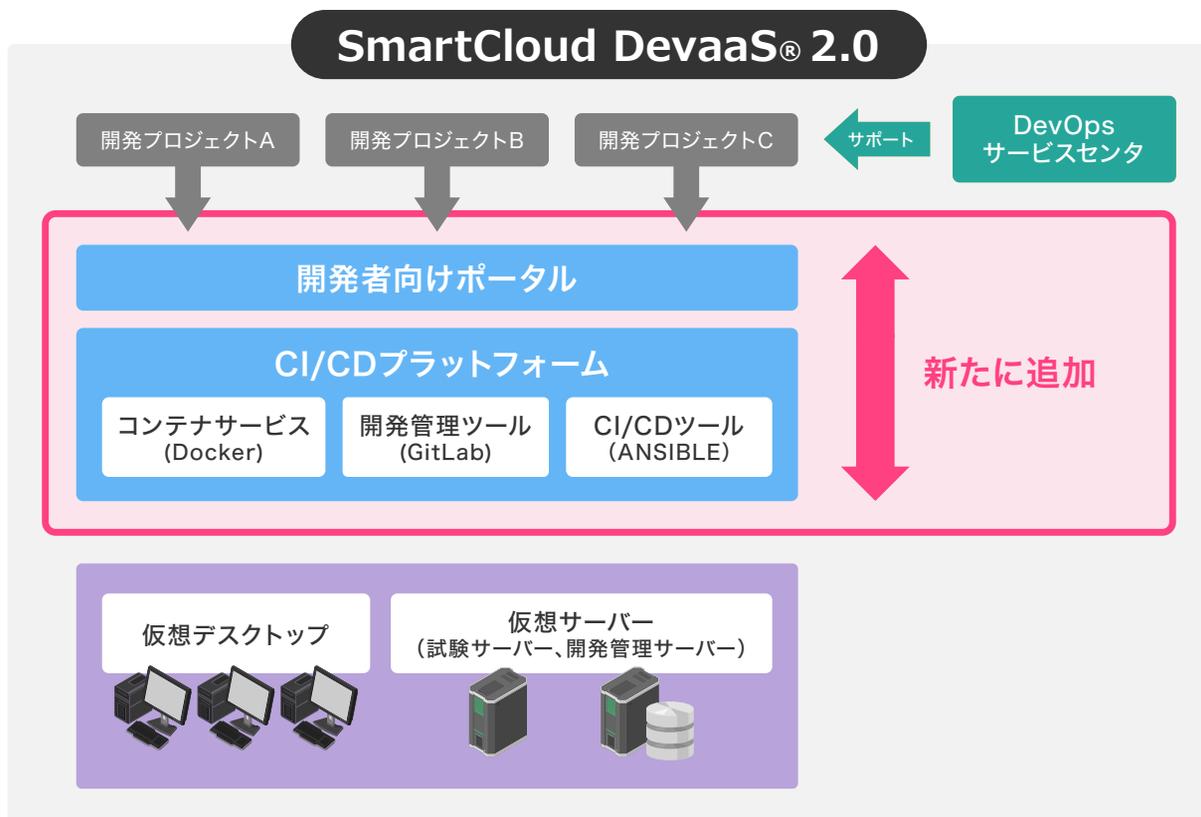
第34回IT戦略総合大会 セミナーレポート
DevOpsの普及促進とDXを牽引するグローバルリーダーをめざして

例えばポータル画面は、開発環境に特化してシンプルな画面で操作できるように工夫しました。試験サーバーにおいても、使いたいミドルウェアを選択するだけですぐに利用可能となります。これらの機能、操作性には、8年間にわたって培ってきた開発者のノウハウが結実しています。

DevaaS®の導入効果として、大幅なコストカットが挙げられます。オンプレミスと比較すると、環境構築コストは95%の削減、試験作業コストは20%の削減、構成管理コストは50%の削減、開発コスト全体で見ても10%の削減を実現できています。NTTコムウェアでは年間数百プロジェクトの開発プロジェクトが立ち上がっているため、会社全体では大幅なTCOの削減を達成しました。



川口 篤史
NTTコムウェア株式会社
ネットワーククラウド事業本部
DevOpsサービスセンタ長

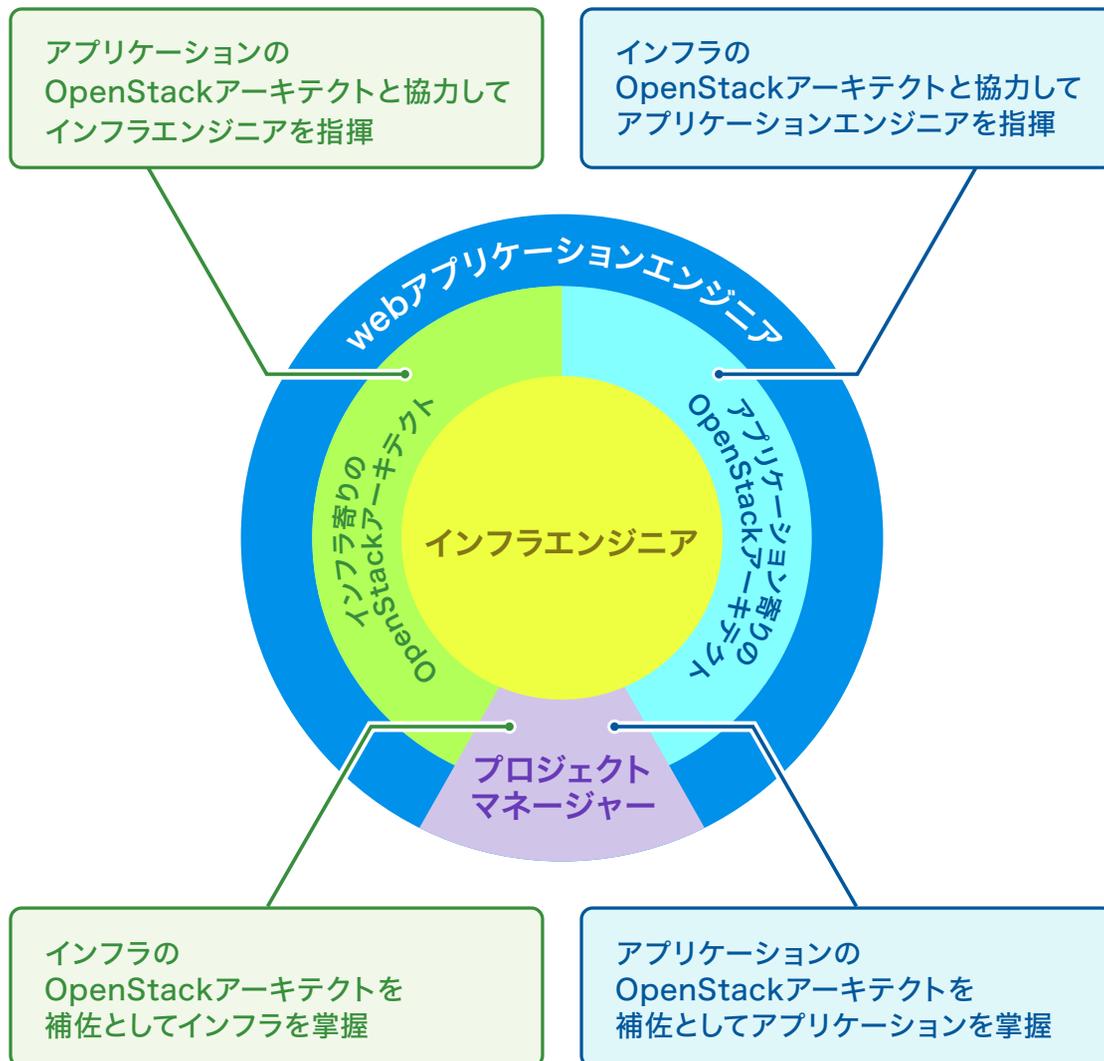


先進的な機能も、検証、改善を経て安定したサービス提供へ

2点目の特長は「先進的な技術による高度化された基盤の実現」です。DevaaS® 2.0では、OpenStackの技術を用いています。DevaaS®の利用現場では仮想マシンの作成や消去が激しく、OpenStackの設計や運用の面での考慮が必要でした。OpenStackは、先進的ではあるものの、安定して商用サービスに利用するのは容易ではありません。開発中にはOpenStack自体が抱える不具合をいくつも発見し、オリジナルのドライバー開発者と連絡を取り合いながら順次解決しながら、サービス開始にこぎつけています。

DevOpsの普及促進とDXを牽引するグローバルリーダーをめざして

エンジニアのスキルの面でも課題がありました。通常の開発ではWebアプリケーションエンジニアとインフラエンジニアの2層に分かれています。ところがOpenStackはその間を埋める技術です。そのため、アプリケーションとインフラの双方に知見のあるエンジニアをそれぞれのチームに配置し、技術面のサポートをしながらプロジェクトを進めています。



今後は開発、運用に加えてセキュリティを加えたDevSecOpsという概念を具現化するために、CI/CDのさらなる機能強化への追従など、さまざまな機能拡張をしたいと考えています。そして最終的にはDXを牽引するグローバルリーダーをめざして努力していきたいと考えています。

※ 商品およびサービスの内容は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 「SmartCloud(スマートクラウド)」、「SmartCloud」ロゴ、「DevaaS」は、NTTコムウェア株式会社の登録商標です。

※ その他、記載されている社名、商品名などは、各社の商標または登録商標である場合があります。

※ 所属部署、役職等については、取材当時のものです。

